

駐名古屋大韓民国総領事をお迎えして

10月24日(木)7限、2年生全員を対象に、国際理解講演会を行いました。駐名古屋大韓民国総領事、金星秀(キム・ソンス)様を講師にお迎えし、「韓日友好の今と未来」というテーマでお話ししていただきました。

駐名古屋大韓民国領事館の仕事には、韓国国民の保護だけでなく、愛知・三重・岐阜との友好を深めることもあるそうです。市内の企業とのウナギ養殖技術の交流を通して、津島市とも交流があるということを知り、生徒もびっくりしていました。

韓国と日本は、出生率や人口、外見だけでなく、味噌とテンジャンという食べ物まで共通点が多く、交流の歴史も長いのですが、その関係はよい時ばかりではありませんでした。生徒も知っているように、争いもありました。それによって「被害者意識」を持っている人もまだいますが、首脳同士のシャトル外交や民間交流などさまざまな努力により、二国間の関係はよくなってきています。しかし、世界に目を向ければ、衝突が起こっているのは、ロシアとウクライナだけではなく、「日本と韓国が協力して、世界の抱える問題をも解決しましょう」と、金総領事は熱く語られました。

最後に、「韓国と日本」が「フランスとドイツ」のような成熟した関係を築き、各分野で戦略的協力パートナーとなるような、「近くて近い国」になる未来に向け、津島高校生に「一緒に努力しましょう」と呼びかけられました。

1時間余りの講演を日本語で行われるほどの語学力がありながら、さらに日本語と日本の歴史や文化の知識を深めていきたいとおっしゃられた金総領事。生徒も韓国と日本が「近くて近い国」になるべく、韓国についての理解を深めたいという思いをもったことでしょう。

(丹羽)

